

2026年7月1日

味の素(株)、本社オフィスを「さらなる共創・共成長の場」へ

2026年7月1日より新オフィス稼働開始

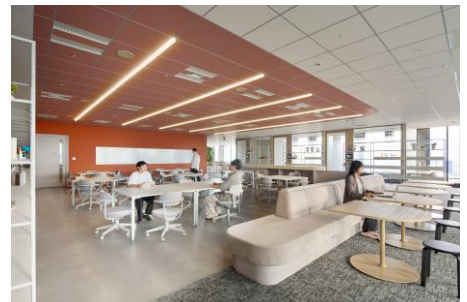
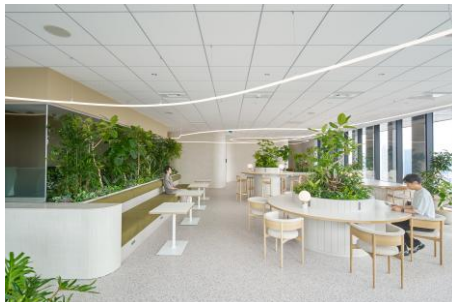
味の素株式会社(社長：中村 茂雄 本社：東京都中央区)は、本社オフィスを移転し、2026年7月1日より新たなオフィスでの稼働を開始しました。当社は中期ASV経営2030年ロードマップの実現に向けて、人財・技術・顧客・組織の4つの無形資産を強みの源泉として位置づけており、今回の移転は、これらの無形資産を強化するための投資となります。当社は、今回の移転を機に、従業員一人ひとりが当社グループのパーパス「アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献する」を日々の業務や対話を通じて実感し、社内外の多様なステークホルダーと体現していくことを促すとともに、ASV経営の進化と中長期的なイノベーション創出を加速させていきます。



＜新オフィスビル外観＞

当社グループは、世界31の国・地域で事業を展開し、それぞれの地域に根ざした価値創出に取り組んできました。経営環境が大きく変化し続ける中、持続的に新たな価値を創造していくためには、多様な人財や知見が出会い、交わり、価値を生み出す「場」が重要です。新オフィスは、こうした「場」を具現化するものとして、従業員の挑戦を後押ししながら、組織、事業、地域を越えたオープンな対話を促進し、社内外のステークホルダーとの共創および共成長を実現する基盤となります。

新オフィスは、「個性の発揮が、共創・共成長につながる」という考えに基づき、フロアごとに「熟考のもと」、「共鳴のもと」、「試行のもと」等のコンセプトを据え、体験価値を持たせた空間設計を行っています。また、部署同士がゆるやかにつながる執務エリアに加え、少人数で思考を深める静かな場、様々な人と交流し思考や視野を広げる場、新たなアイデアや挑戦を実践する場を設ける等、従業員が業務内容や目的に応じて自律的に場を選択し、自身の個性や力を最大限発揮できるようデザインされています。これらのオフィスコンセプトは、社内組織横断プロジェクトの手挙げ参画施策(「TRY&A-CROSS」)として、従業員と経営層との対話を通じて検討・具体化されました。



＜フロアごとのコンセプト＞

左から「熟考のもと」、「共鳴のもと」、「試行のもと」

さらに、「味の素グループの価値を体感できる空間」として、アートや展示、ライブキッチン、食を通じた体験が可能となるスペースを設置し、当社グループの歴史や強み、アミノサイエンス®がもたらす価値を「伝える」のではなく「感じる」コミュニケーションの実現を目指しています。

なお、新オフィスが入居するTODA BUILDINGは、ZEB Ready[※]認証を取得する等、環境にも配慮された設計となっています。

※ZEB(Net Zero Energy Building)を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物(環境省ホームページより)。



<味の素グループの価値を体感できる空間>

当社グループは、新オフィスを起点に、従業員一人ひとりの挑戦と社内外の多様なステークホルダーとの共創を通じて、社会価値と経済価値を共創するASV経営を進化させ、中長期的なイノベーション創出を加速し、アミノサイエンス®で人・社会・地球のWell-beingに貢献します。

■新オフィス概要

住 所：東京都中央区京橋1-7-1(TODA BUILDING)

移転日：2026年7月1日

■祝花等の辞退について

新オフィスの管理上の都合および環境配慮の観点から、祝花等につきましては謹んで辞退させていただきます。

参 考

2024年6月7日付プレスリリース

味の素(株)、本社オフィス移転により無形資産を強化

<https://news.ajinomoto.co.jp/2024/06/20240607.html>

TRY&A-CROSSとは？組織横断プロジェクトへの手挙げ参画施策(社内副業)

[TRY&A-CROSS | 挑戦 | 味の素グループの人財戦略 | 味の素株式会社](#)

味の素株式会社・味の素グループの詳細：[味の素株式会社 ~Eat Well, Live Well.~](#)

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：[Pr_media](#)